

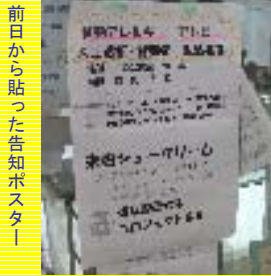


プロジェクト88



関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



東日本大震災 宮城県七ヶ浜町避難所

88シュークリームを被災者・ボランティアに配布

白藤 OG(小学校栄養士)のアレルギー・透析相談調査は患者不在で不調に終わる

○ 七里ガ浜町避難所2ヶ所で「88米粉シュークリーム」を配布 ○



やはり女性は甘いものにはめがない!

東京家政大学生とガトウ専科、エコ・ライス新潟がコラボする「プロジェクト88」が七ヶ浜町の避難所で米粉シュークリーム1000個をガトウ専科から無償提供を受けて配布しました。

配布には白藤プロジェクト第1期リーダーで小学校栄養士の松本恭子さん、第5期リーダー新3年の高橋菜里さんも参加。避難しているお年寄り、子供を中心に配布。久しぶりのスイーツにこぼれる笑顔が印象的でした。

高橋さんは避難所の建物の中に入らず、避難所駐車場で車中避難している人にも、一台一台回り配布をしました。

又、七ヶ浜町のHPで不足している物資「水、お茶、カップ麺、もち、醤油、米」を支援しました。アレルギー対応食は避難所の倉庫で一般食と混ざる恐れがあるので、新潟に持ち帰りました。

○ 「アレルギー・アトピー、透析 相談」調査は対象者を見つけられず… ○

松本恭子さんは小学校の栄養士として学校給食において積極的に「アレルギー対応」に挑戦しています。専門性を活かして、高橋さんとともに避難生活での食事制限者の調査を行う予定でした。しかし、2ヶ所の避難所約500名では対象の方にお会いできませんでした。理由として考えられるのは、すでに重症の方は安全な所に避難している、貼紙だけでは情報が伝わらない(埋もれてしまっている)、昼間の間は自宅の片付けなどで不在だった…。いずれにせよ、相談を夜間に行う、情報伝達方法を見直す(例えば、地元のアレルギー医との連携等)工夫が必要と感じました。

(協力:レスキューストックヤード 浦野様)



避難者の女性から話を聞く高橋さん。公民館の畳部屋での共同生活、先の見えない避難生活の実態を伺いました。



2ヶ所の避難所入り口の情報コーナーの「学校関係」にアレルギー支援のポスターを掲示してもらいました。皆さん好意的でした。



先に大型トラックから物資を下ろしていたので一緒に手伝う長岡高専新4年豊永詞さん。地元の高校生ボランティアとともに汗を流す。



避難所のロビーの一角を借りて「相談」開設。気合十分の松本恭子さん。小5年生で卵アレルギーの男子がいましたが、親が家の片づけで不在。アレルギー物資を渡せず。

【 問合せ先 : (有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL 0258-66-0070 mobile 090-6458-5535

